

# 一般質問発言通告書

発言順位 1番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 3年 11月 25日

三島市議会議長 川原章寛様

三島市議会議員 8番 大石 一太郎

質問事項 1	三島駅東街区再開発事業について・・・事業成立に向け市民説明の徹底を
具体的内容	市制 80 周年事業において、一様に褒め称えられたのは、三島市の持つ自然環境と立地の良さでした。コンパクトな都市構造、新幹線と東駿河湾環状線、駅前の緑と水辺環境、自然に包まれた環境共生型の土地利用、首都圏まで 47 分の時間距離、住環境モデル都市に相応しく、歴史・文化、地域資源を活かした街の形成が望まれます。
1	施設計画と市のグランドデザイン、広域健康医療拠点との整合性について、またホテルを市の顔とする根拠、及びシティホテルかビジネスホテルか併せて伺います。
2	デジタル田園都市国家構想の三島駅は玄関口、構想のゲート機能を導入すべきではないか。また三島市もスーパー特区エリアに申請し、玉沢地区や大場地区の開発構想を具体化すべきでは。
3	変更案は、総事業費 209 億円その内市の補助は 29 億円と当初に近い数字、増額要因は何か。導入機能の賃貸住宅や業務系オフィスも補助対象となるのか併せて伺います。
4	駐車場経営の観点から、420 台の月極・時間貸しの稼働率・想定される収入見込み等、市の運営条件・試算内容・投資回収期間等について伺います。
5	施設計画では、商業規模が縮小しているが、地域活性化の拠点、起爆剤と成り得るのか。また導入機能等に対する市の意見等は的確に伝えているのか併せて伺います。
6	設計段階からゼネコンが参画する ECI 方式を採用するが、ゼネコン選定にあたり、入札方法、入札参加業者数、入札予定日、選定に当り選定委員会を設けるのか、業者決定の時期と組合設立認可の見通しについて伺います。
質問事項 2	福祉対策 3 テーマについて・・・少子化対策と障害児教育支援について
具体的内容	日本の合計特殊出生率の低下と、高齢化率の増加は、共に世界最速で進み、歯止めがかけられない状況、少子化対策への取り組みと中学校への特別支援学級開設の充実を。
1	2025 年問題は従来団塊世代の後期高齢化入りを意味していましたが、少子化においても出生児数が急速に減少し、コロナ禍の影響で社会保障人口問題研究所の人口推計より低く推移しており、乳幼児の減少で 2025 年には保育施設過剰の時代を迎えることとなります。 幼稚園・保育所運営における 2025 年問題に対する今後の課題として、イ)隠れ待機園児対策としての、保育施設の地域的偏在是正に向けた適正誘導配置、ロ)公立幼稚園・保育園の統廃合と定員管理、ハ)公立幼稚園・保育園の存続の意義等の検討が必要となります。残り 4 年、今後の取り組みが重要であり、市の方針について伺います。
2	少子化対策への取り組みとして、婚姻による結婚祝い金を支給し新生活を支援する制度がスタートしました。これに人口政策面から子育て支援策として出産時・入園時・小学校入学時・中学校入学時と各ステージ毎に、成長と共に祝い金を支給する。また第 2 子の壁対策として多子世帯への出産祝い金の拡充を図る等生活・教育資金を中心とした取り組みの充実は出来ないか伺います。
3	旧市内を除く 3 地域(中郷・錦田・北上)内の小学校に、特別支援学級が設置され障害児に対する保護者の負担軽減と、地域理解が進められています。今後は中学校への設置が望まれますが、各地区の状況から、北上小では 2 名の児童が中学生となりますので、北上中学校への学級開設について伺います。